

第24回米子市水道事業審議会 資料

- ・平成30年度の当初予算(案)について

平成30年2月19日(月)

平成 30 年度当初予算について

編 成 方 針

今後の事業運営の指針を示すため、平成 30 年度～平成 39 年度にかけて新たに策定している水道事業基本計画を軸とし、更に詳細について検討を加えたものとした。

経常的経費についても、独立採算制に基づく経営者の視点にたち、精査抑制して調整した。

より一層安全で良質な水の安定供給を図ること及び強靱で持続可能な水道事業の構築を目指し作成した。

料 金 収 入

実績及び社会情勢を踏まえ試算した。

給水収益の減少傾向はやや緩やかになりつつあり、

前年度の当初予算と比較して 0.2% の減額とした。

建 設 投 資

投資的経費については、引き続き、老朽管更新事業、国道 431 号線の水管橋更新事業を実施するほか、本年度から、重点的に、各水源地の老朽施設の整備事業、基幹管路の更新事業を計画的に進めてまいります。

予算規模(当初予算比較)

▲収益的収支(税込み) ～水道水をお届けするための予算～

収入総額は 36 億 3,968 万円で、受託工事収益の増加などのため、前年度に比較して 4,203 万円(+1.2%)の増加となります。

支出総額は、34 億 592 万円で、賀祥ダム維持管理費、旧施設撤去工事費などの増加により、前年度に比較して 2 億 2,221 万円(+7.0%)の増加となります。

この結果、純利益は 2 億 3,377 万円を見込んでおります。

▲資本的収支(税込み) ～水道施設を整備するための予算～

収入総額は、6 億 8,032 万円で、主に企業債の増加により、前年度に比較して 9,470 万円(+16.2%)の増加とした。

支出総額は、19 億 774 万円で、建設改良費の増加により、前年度に比較して 2 億 2,632 万円(+13.5%)の増加となります。

主な事業の概要

継続して行っている事業

事業名	事業内容	予算額(千円)
1 配水管改良事業	鋳鉄管、ポリエチレン管 φ50～ φ150mm 9,954m 消火栓 11基	445,865
2 老朽管更新事業	鋳鉄管、ポリエチレン管 φ50～φ100m 2,020m	108,000
3 国道431号線水管橋更新事業	和田新橋	186,840

新たな事業

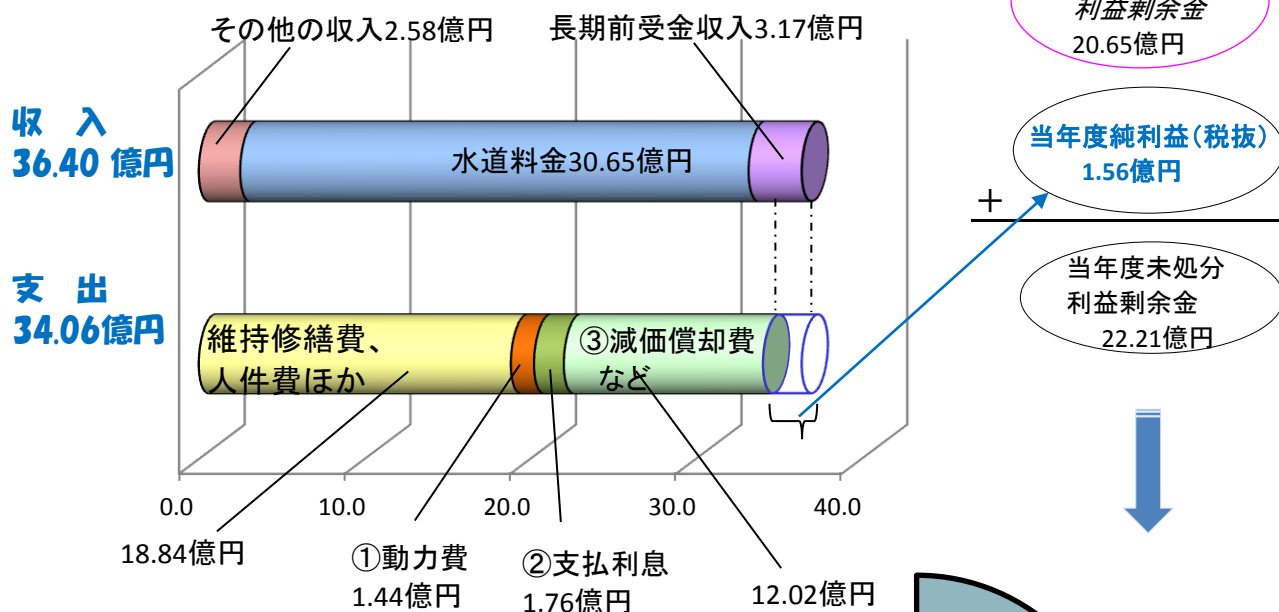
事業名	事業内容	予算額(千円)
4 基幹管路更新事業	市内河崎～夜見町 φ500mm 520m	158,760
5 戸上水源地整備事業	管理棟補修、取水井更新、 次亜注入設備更新、旧水管橋 撤去工事 ほか	278,842
6 各水源地整備事業	日下水源地建築施設補修工 事、河岡水源地次亜注入設備 更新工事 など	61,571

その他の事業

事業名	事業内容	予算額(千円)
7 車尾水源地管理棟撤去工事	旧管理棟、旧ポンプ井	61,344

★収益的収支の予算(税込み)

(事業の運営や水道施設の管理に係る経常的な収支)



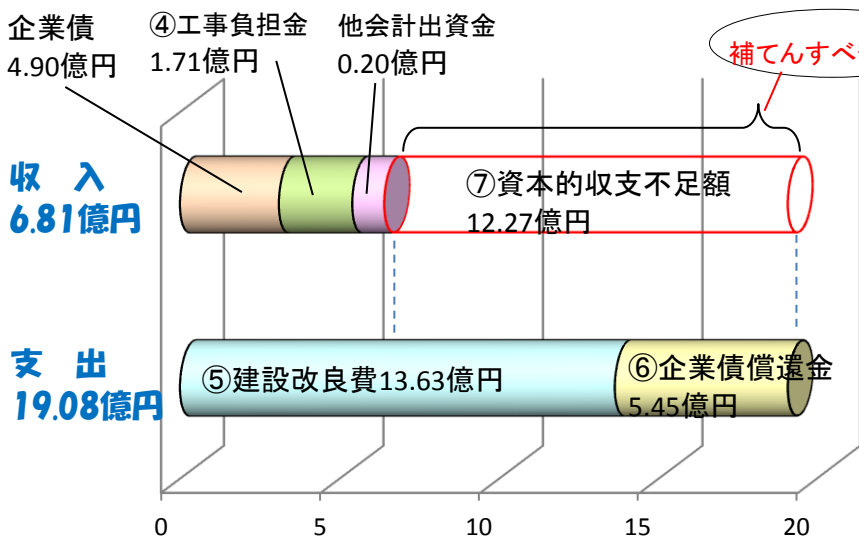
前年度繰越利益剰余金
20.65億円

当年度純利益(税抜)
1.56億円

当年度未処分利益剰余金
22.21億円

★資本的収支の予算(税込み)

(水道施設の新設や更新などに係る投資的な収支)



減価償却費など 8.85億円
消費税調整額 0.78億円

繰越利益剰余金
2.64億円

補てんすべき金額

補てん

補てん後残高

繰越利益剰余金
19.48億円

ほか積立額

減債積立金
積立額
780万円

- ・①動力費 …水道水をお届けするために必要な電気料金。
- ・②支払利息 …企業債(借入金)の利息。
- ・③減価償却費 …施設の新設や更新に使ったお金を一度に費用とはせず、毎年、費用化するものです。
- ・④工事負担金 …下水道や土木工事などに伴い発生する他会計が負担すべきお金です。
- ・⑤建設改良費 …施設の建設費や更新に伴う改良工事費で投資的要素があるものです。
- ・⑥企業債償還金 …企業債(借入金)の元金の返済です。
- ・⑦資本的収支不足額 …減価償却費や繰越利益剰余金などの内部留保資金で補てんします。

1 業務の状況について

業務の実績の推移

(千円)

	平成28年度 (決算値)	平成29年度 (当初予算)	平成30年度 当初予算	前年度比	摘要
給水人口 (人)	185,035	186,407	185,562	△ 845	
給水戸数 (戸)	75,635	75,519	76,047	528	
年間配水量 (m ³)	23,161,807	22,888,000	22,650,000	△ 238,000	
年間給水量 (m ³)	21,069,336	20,850,000	20,702,000	△ 148,000	
有収率 (%)	91.0	91.1	91.4	0.3	

* 有収率は、年間配水量のうち、料金の基礎となった水量の割合。(同格都市の割合は90.1%)

2 経営状況(収益的収支)について

①収益的収入の推移

(千円;税込)

	平成28年度 (決算値)	平成29年度 (当初予算)	平成30年度 当初予算	前年度比	摘要
料金収入	3,120,574	3,071,412	3,065,472	△ 5,940	△0.2%
その他	539,593	526,243	574,208	47,965	
総収益	3,660,167	3,597,655	3,639,680	42,025	1.2%

②収益的支出の推移

(千円;税込)

	平成28年度 (決算値)	平成29年度 (当初予算)	平成30年度 当初予算	前年度比	摘要
営業費用	2,586,373	2,922,938	3,144,533	221,595	
営業外費用	207,212	258,265	258,882	617	支払利息等
その他	923	2,500	2,500	0	
総費用	2,794,508	3,183,703	3,405,915	222,212	7.0%

当年度純利益(①-②)

(千円)

	平成28年度 (決算値)	平成29年度 (当初予算)	平成30年度 当初予算	前年度比	摘要
純利益(税込)	865,659	413,952	233,765	△ 180,187	
純利益(税抜)	687,652	321,686	155,837	△ 165,849	

3 資本的収入及び支出

③資本的収入の推移(翌年度にあてる繰越工事資金は除く。) (千円;税込)

	平成28年度 (決算値)	平成29年度 (当初予算)	平成30年度 当初予算	前年度比	摘要
企業債	2,872,100	312,600	490,000	177,400	基幹管路更新事業ほか
工事負担金その他	238,894	273,020	190,319	△ 82,701	
計	3,110,994	585,620	680,319	94,699	

④資本的支出の推移 (千円;税込)

	平成28年度 (決算値)	平成29年度 (当初予算)	平成30年度 当初予算	前年度比	摘要
建設改良費	2,968,480	1,098,482	1,363,056	264,574	24.1%
企業債償還金	640,479	582,936	544,684	△ 38,252	
計	3,608,959	1,681,418	1,907,740	226,322	

★資本的収支不足額(④-③) (千円;税込)

	平成28年度 (決算値)	平成29年度 (当初予算)	平成30年度 当初予算	前年度比	摘要
資本的収支不足額	* 1,183,630	1,095,798	1,227,421	131,623	

* 翌年度へ繰り越す財源を除いた額です。

4 不足額の補てん

★資本的収支不足額の補てん (千円)

	平成28年度 (決算値)	平成29年度 (当初予算)	平成30年度 当初予算	前年度比	摘要
損益勘定留保資金	730,709	860,412	884,882	24,470	減価償却費ほか
繰越利益剰余金	259,258	183,267	264,576	81,309	
繰越工事資金	15,827	0	0	0	
消費税調整額	177,836	52,119	77,963	25,844	
計	1,183,630	1,095,798	1,227,421	131,623	

5 利益剰余金の推移(処分後)

(千円; 税抜き)

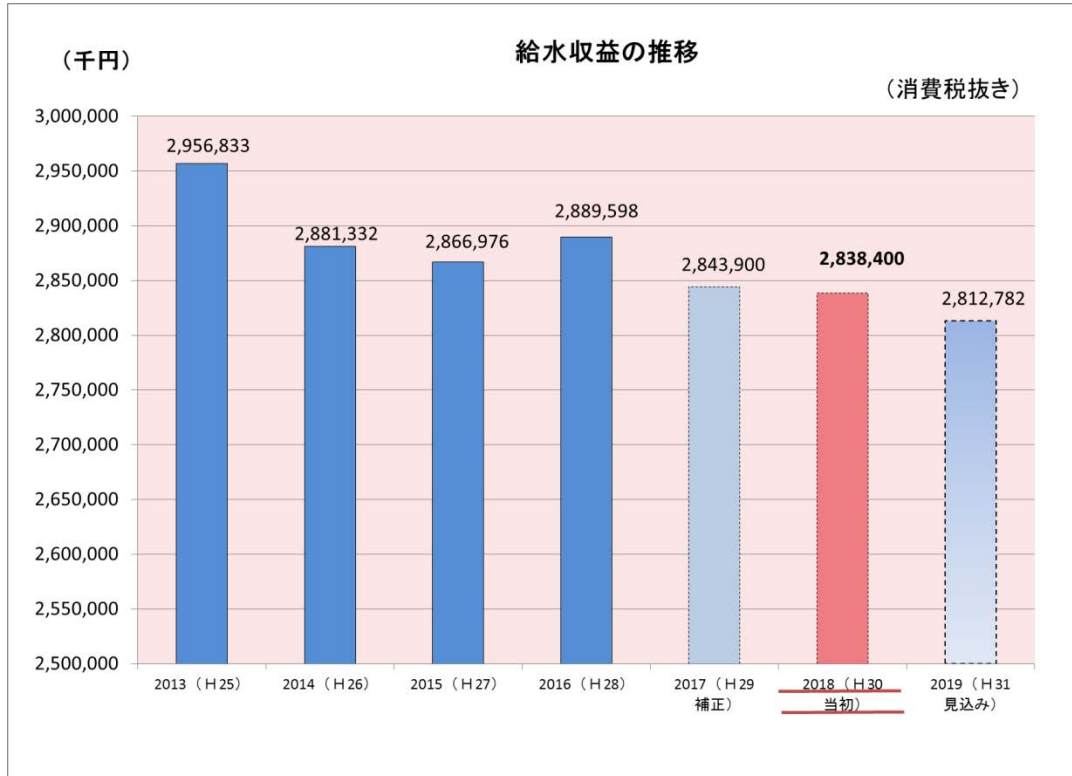
	平成28年度 (決算値)	平成29年度 (当初予算)	平成30年度 当初予算	前年度比	摘要
減債積立金	184,800	187,500	195,300	7,800	積立予定額
建設改良積立金	0	0	0	0	
その他積立金	29,495	29,495	29,495	0	水源涵養林取得積立金
繰越利益剰余金	1,781,240	1,739,276	1,948,214	208,938	
計	1,995,535	1,956,271	2,173,009	216,738	

6 企業債残高の推移

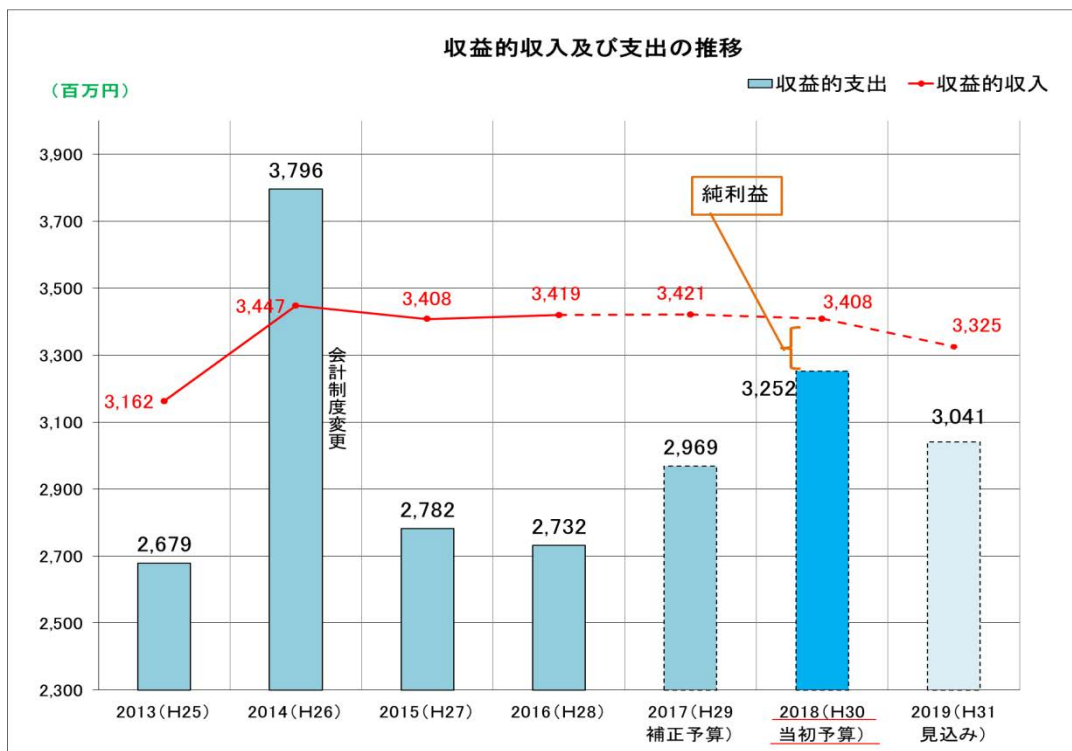
(千円)

	平成28年度 (決算値)	平成29年度 (当初予算)	平成30年度 当初予算	前年度比	摘要
企業債残高	13,357,521	13,087,185	12,967,902	△ 119,283	

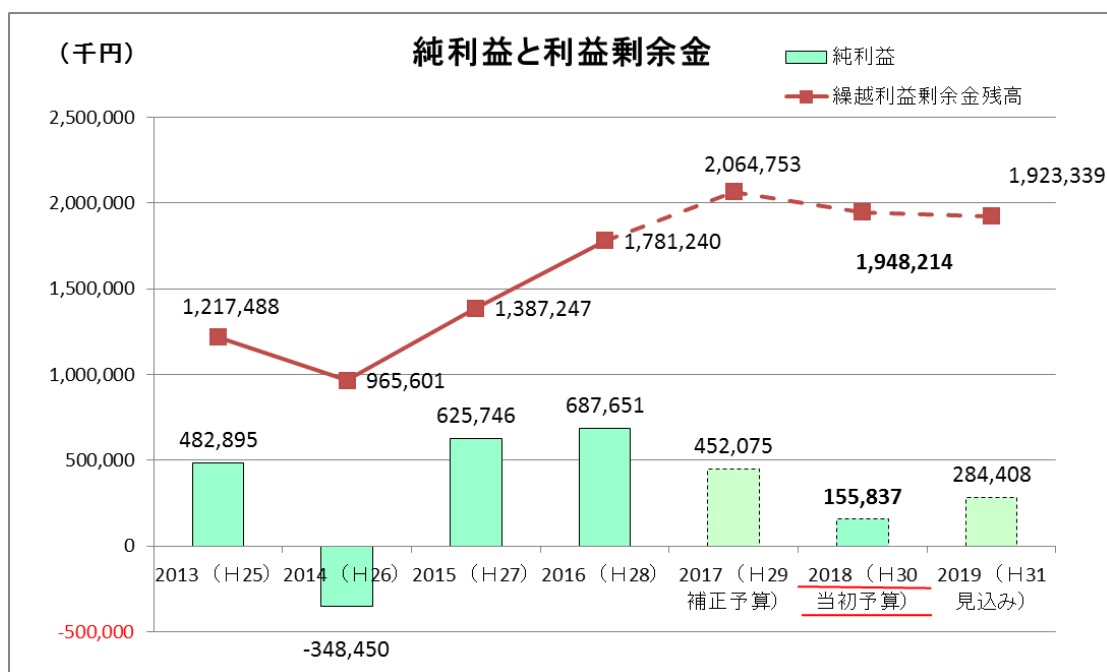
水道料金収入の推移



経常的な経費の推移



純利益と利益剰余金の推移



建設投資額と起債借入額の推移

